

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年2月20日

事業所名: あすなろつばさ(放デイ)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0		今後の増員も踏まえて活動スペースを確保する為の収納確保を進めていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	0	配置基準より多く配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	0	簡易スロープや手すりなどを設置している。	改善・改修が必要となった場合は即対応できるようにしておく。かつより使いやすい環境整備と計画を進めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	1		子ども達が製作した作品などを壁面などに展示し、自分たちの居場所と感じれるように昨年に引き続き継続していきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	1		ポイントは抑えているがもう少し細かく伝えていく必要がある。特に臨時職員への伝達はより細やかに、時間確保の上传えていきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	1		ご意見を頂いた項目は職員全体で周知し、今後の改善に努めたい。全職員の周知と共有理解ができる場をもつとつくりあげていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	1	公表している。	新規職員への周知が来ていなかった。初任研修やオリエンテーションを活かして周知徹底を行っていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	10	未実施	法人独自の第三者を交えた評価を行う予定。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	研修の情報などは全職員に提供している。	人間発達講座など研修の機会を提供し、個別での研修も受けれる様に今後も対応していく。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	2	保護者の方々と面談を行い、ニーズや課題を双方で確認している。	より丁寧な目標の設定を意識できるように日々の振り返りを大切に行っていく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	10	ツールを使っでの支援ではなく、言葉での支援を行っている。	必要であれば、発達検査等発達相談員と連携をとり、その子への支援計画立てていく。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	1	相談員や保護者と面談の際に相談し、適切な支援内容を計画に反映している。	項目が偏りがちな面もある。ガイドライン等を活用し多角的な支援計画と内容の設定を進めて行く必要がある。

適切な支援の提供

13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	9	1		支援の課題や今後の展開についての協議は実施しているが、本来の目標としていた点の振り返りが弱い。左記の項目内容を意識しての協議の場を作り上げるようにしていく。
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1	次月の予定や長期休暇などの予定を職員全体で確認している。	定期的な会議の開催と、業務終了後の雑談の場を今後も大切に、チーム力を高めしていく。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	同じ様な行事でも少しアレンジを加え、楽しめるようにしている。	ガイドラインを活用した、様々な視点からの支援展開を行っていく。
16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10	0	土曜日や長期休暇でしかできない特別な活動を取り入れている。	それぞれの特徴を活かして少し難しい課題や時間をかけて行う課題などを積極的に取り入れていきたい。
17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	0		集団活動の中でも個々の力を伸ばし、興味につながるように活動計画を作成していく。
18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	1		細やかな打ち合わせをより行っていけるように協議のポイントを事前にまとめて進めていけるように今後も継続していく。出勤時間が全員一致しない状況の中でも共有できるように環境整備を行う。
19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0		
20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	2	個人記録を記載し、今後活用できるようにしていきます。	振り返り時にはとても活かせる記録として、今後も継続していく。全員で記録をとる体制が難しく出勤時間を工夫しての日々全員支援(チーム)が作れるようにしていく。
21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0		相談支援専門員との連携をより強化し、全職員に周知していく。
22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	10	0		展開はしているが、定期的なガイドラインの振り返りを今後は進めていく必要がある。
23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	管理者や直接支援している指導員が積極的に参加している。	今後も関係機関と連携し、ケース会議が必要と思われた場合は積極的に参画していく。
24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか				
25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9	1	積極的に担任と連絡を密に取り合うようにしています。	支援学校とは毎日連絡や引継ぎを行っている。地域小学校とも出来る限り先生との連携ができるように協議していきます。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/		
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/		
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	/	/		
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	/	/		
	30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	1	定期的に連絡会議を行い、情報共有をしています。	今後も継続して密に連絡を取り合っていく。
	31	(放課後等デイサービスののみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	5	現在連絡があった場合は同意の上、情報提供を行っています。	
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	2	法人内の各事業所とその他各機関と連携しています。	状況に応じて意識した連携を今後も進めていきます。
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	10	今年度はコロナ感染予防の為、実施していない。	感染対策も考えながら開催できればと思っています。公園活動での地域の子どもの交流から、少しずつ繋がりをもてるように進めていく。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	10	0	積極的参加ができている。	多くの職員が参加出来るようにしていく予定です。
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1	送迎時や連絡帳にて共有が出来るようにしています。	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	9	1	「声」を聞き、何が今必要かを保護者にも対応できるように職員連携や協議をしています。	保護者全体への対応としては不十分な点もある。研修も含めた職員全体の対応力を身に付けていきたい。面談や交流会でも意識した計画を行っていく。
	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	1	年に一回の説明会を開催しています。	
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	9	1	アセスメントや面談の際に説明し、同意を得ている。	

保護者への説明責任等	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	1	随時相談に応じている。必要な場合は関係部署と連携を図り、支援を行っている。	必要な状況になれば相談できる時間を設けていますが、学習会等の定期的に進めていける機会が設けられる様、状況をみながら進めていく。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	0		年度末に保護者会を開催予定です。保護者の方が参加しやすい日時などを検討していく必要がある。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1	相談員含め関係部署と連携して相談に応じている。	保健師や他事業所などの連携を常に取りやすい環境整備を進めていきたい。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1	月に一度のお便りと年に3回の法人全体の通信を出している。	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	0	書類等は許可がない限り持ち出さないように指導しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1	文章や口頭での対応を行い、丁寧な対応を心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	4	今年度は一度地域の方々にしめ縄を教えて頂いた。	情勢をみながら、地域とのつながりが持てるようにしていきます。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	0	職員として今年度は周知の確認が出来ておらず、見直しが出来ていない。個別支援計画に記載している。	訓練の実施回数は今後多く設けていくようにしていきます。併せて職員訓練も行います。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	職員訓練は現在未実施。早急に行う。	避難訓練は行っているが、そのほかの訓練やシュミレーション等の協議が不十分。年度内に協議は行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	1	保護者より情報を頂き、職員全体で周知徹底し、てんかんを持っている子に関しては常に視野に入れるようにしている。	保護者との共有はしているが、医師との連携も指示書を頂きながら確認している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	8	2	保護者より年度初めに情報を頂き、職員全体で周知している。今年はその共有が全員にできていなかった。	サポートデータを元に保護者と対応を進めていき、状況に応じて医師との連携も視野に対応していく。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0	10	今年度は共有するという点では弱かった。	事例集は作成しているが活用としては弱くある。見返りを行い、より活用できるように進めていく。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	虐待チェックリストを年に3回行っている。	年一回の研修を受講・実施しています。年度末に実施。

	52 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	2	身体拘束等適正化委員会を開催した結果、対象となる児童はいないが研修を実施している。	
--	--	---	---	---	--

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:2023年2月20日

事業所名:あすなろつばさ(放デイ)

保護者等数(児童数)25 回収数15 割合60%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	0	0	0		複数の部屋や遊戯室、園庭を活用して安心、安全な場所となるように進めています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	0	0	1		専門性に関しては日々の保育の反省を行いながら職員の意識と技術の向上を目指すように環境整備を進めていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	0	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	0	0	0		
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画が作成されているか	15	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	15	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	0	0	0		
	⑨	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	13	0	1	1		機会の場として、公園や散歩活動での交流できる環境は設けているが、子どもたちの様子を見ながらより交流できる計画は進められます。
保護者 への 説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	0	0	0		
	⑪	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	12	0	0	3		日々の提供記録や懇談、送迎時の申し送り等でお話から、今何が必要なのか、支援すべき事象を整理し提案できる様な体制を作り上げていく。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	0	0	1		相談支援専門員や発達相談員とも連携して、適切な助言、支援ができる機会を面談等を通して今後も続けていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	2	0	4		保護者交流会は実施しているが、保護者同士の声が聞きやすい内容になれるように計画の際、配慮して進めていきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15	0	0	0		

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	0	0	0	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	0	0	1	法人としてのホームページは開設しています。また、それらの情報となるお知らせなどもより周知していただける様、より知って頂ける工夫を考えていきます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	0	0	1	日々の職員同士の申し送りでも、職員の行動規範として繰り返し注意、配慮をしていくように進めています。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14	1	0	0	災害発生時の対応についてのマニュアルは作成しているが、保護者へのより細やかな周知は不十分な点がある。避難場所や災害発生時の事業所としての行動については周知していただくための対応を進めていきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	1	0	0	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	15	0	0	0	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	15	0	0	0	

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。